

平成 18 年 6 月 29 日

近藤滋さんの活動紹介と紅茶頒布益

1990年代前半のデリー駐在員仲間、電源開発の近藤滋さんが Kolkata (Calcutta) 西北の僻地ブルリア地区で揚水発電所建設の責任者をこの3年来務めておられます。人家まばらな僻地で住民は インドで蔑視されてきた Tribe。

Vivekananda Vikash Kendra なる NPO が、住民民度向上には教育だ！ と二つの寄宿舎学校を運営しております（人家まばらで通学不能児が多い、教員もボランティア的活動）。半年位前に近藤さんが写した学校・生徒の写真をメールで回覧しましたのでご記憶の方が多と思います。

この学校に電気が来ておらず、近藤さんが自腹を切っても電気を引いてやろうと計画、我々も協力する予定でしたが、偶々電源開発副社長が現場に来訪し本件内容を知るに及び、会社が面倒をみてくれました。

他方、校舎・寄宿舎もぼろぼろ、近藤さんの助言でこの NPO が日本外務省の「草の根資金」での援助申請をコルカタ日本総領事館に昨年提出し、漸くこの程正式認可されました。皆さんのご協力の下 紅茶頒布益を貯めつつあり、その使途に関してはご協力頂いている皆様にお諮りして決めなければなりません、孤児院など寄付に悪馴れしている先を避け 現金だと形が残らないので形が残るような寄付をしたいと考え、寄付先の有力候補としてこの2年余近藤さんと連絡を取り合っています。

外務省資金による学校校舎建設計画は；資金約 1100 万円、

校舎は 3 階建て、総床面積 6 1 1 SQ・M

完工来年後半

近藤さんからは図書室の寄贈を希望されております。

以 上